

# 大学院教育支援機構（DoGS）海外渡航助成金 報告書

## Outcome report

計画名 Plan	大腸癌に関する日独国際共同レジストリの立ち上げと国際学会発表
氏名 Name	水野 良祐
研究科・専攻・学年 Graduate school/Division/Year level	医学研究科医学専攻 消化管外科学教室 博士課程3年次
渡航国 Country	ドイツ・セルビア
渡航日程 Travel schedule	2025年6月11日 ~ 2025年6月21日

- ページ数に制限はありません。No limits on the number of pages
- 写真や図なども組み込んでいただいて結構です。You can include pictures or illustrations.
- 各項目について具体的に記述してください。Please fill in each item specifically.
- 日本語または英語で記載ください。Please use Japanese or English.

### 渡航計画の概要 Outline of the travel plan

ドイツ フランクフルト・ゲーテ大学 消化器外科学教室を訪問し、京都大学消化管外科学教室との国際共同大腸癌レジストリの立ち上げに向けたスタートアップミーティングを行った。また同渡航で、セルビア ベオグラードで開催される欧州内視鏡外科学会に参加し、当科研究成果の口演を行った。

### 成果 Outcome

フランクフルト大学との共同研究をスタートすることに賛同いただいた。具体的に使用するレジストリや想定するアウトカムについて議論した。特に、大腸癌に対する日本と欧州の治療方針の違いにフォーカスすることに興味を持っていただき、直腸癌の側方郭清 vs 術前化学放射線療法や、右側結腸癌の D3 郭清 vs D2 郭清、など複数のアイデアを話し合った。

また、ベオグラードでの発表も滞りなく完了した。具体的には 80 歳以上の高齢鼠径ヘルニア患者に対する開腹 vs 腹腔鏡手術の安全性の比較を京大関連 21 施設による多機関共同研究として行なった。術式の比較と麻酔法の比較を区別して行うことで、より厳密な議論を可能とした。結果として、高齢者であっても腹腔鏡手術は安全に施行可能と結論づけた。長寿国である日本ならではのデータを示すことができた。学会を通じて、やはり日本とは違った観点での議論もあり、非常に興味深く、また見聞の広がる経験となった。

### 今後の展望 Prospects for the future

フランクフルト大学との共同研究を進めるべく、レジストリの詳細な項目確認などを行う。研究資金の獲得に向けた助成金の申請も進めていく。

ヘルニアの研究については、本論文は既に publish されているので、副論文にも着手していく。

